



あらかわ一義
市政だより
そくさいかいね

令和3年10月発行 No. 74



市長提案理由 ▼近年、国内の自然災害発生件数は増加傾向にあり、その被害の規模も大きくなってきています。市民の皆さんにおかれては家庭内で災害時の避難方法を話し合ったり、飲料水や非常食を備蓄しておくなど、まずは「自らの命は自らが守る」ための備えをしていただき、本市としましても、引き続き、防災無線やインフォメールを活用した、的確で分かりやすい情報の提供などに努めていきます。



▼新型コロナウイルスについて、さらなる感染拡大を防ぐため、国では「医療体制の構築」「感染防止の徹底」「ワクチン接種」の3つの柱で対策を進める事としています。その柱のひとつであるワクチン接種の状況ですが、すでに12歳以上の全ての市民を対象とした接種の受け付けを開始しておりますが、全国的に国からのワクチン供給が不十分であり、本市に於いても、その供給量をみながら接種枠を設定している事から、希望どおりに予約が取れない状況が発生しています。市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけしておりますが、市ホームページや予約サイトで最新情報をご確認の上、予約をお願いすると共に、引き続き、手洗いやマスクの着用など、基本的な感染症対策の徹底をお願いするといたしました。



▼今定例会は、9月6日から22日までの17日間を会議期間として行われ、一般質問では、14名の議員が質問にたち、活発な議論が交わされました。今定例会の概ねをご報告いたします。

令和3年度9月補正予算

(1) 一般会計の補正予算額 10億2,666万6千円の増額

①補正後予算額

	補正前予算額	補正後予算額	増減率
令和3年度	334億2,991万2千円	334億9,491万2千円	+3.2%

②財源内訳

国庫支出金	7,230万8千円	県支出金	220万7千円
諸収入	76万7千円	市債	7億2,580万円
繰越金	2,164万円	分担金及び負担金	△885万9千円
繰入金	2億0540万3千円	寄付金	740万円

特別会計(企業会計以外)の補正予算額 757万7千円の増額

介護保険特別会計	86万7千円	公設地方卸売場事業	671万円
----------	--------	-----------	-------

企業会計の補正予算額 4,616万円の増額

病院事業会計(収益的支出)	326万円	病院事業会計(資本的支出)	4,290万円
---------------	-------	---------------	---------

(2) 一般会計の主要事業(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
子育て世帯応援金事業	子育て世帯に対する生活応援金 給付額：児童1人あたり2万円(約5,300人) 対象者：令和3年9月分児童手当受給者	106,590	子育て支援課
子育て世帯臨時保育料助成事業	子育て世帯の経済負担軽減。保育料の半額を助成 対象世帯：保育園等に入園している3歳未満の児童を養育している世帯 対象期間：令和3年9月分～令和4年3月分	23,271	
放課後児童クラブ事業費	西湊放課後児童クラブの新設に対する補助 既存の放課後児童クラブの規模縮小に伴い、これに替わる施設として西湊保育園舎を増築し、新たな放課後児童クラブを開設(2ヶ年)	2,982	
在宅介護応援金事業	在宅で介護を受けている要介護3以上の認定者 給付額：1人当たり2万円	14,066	高齢者支援課
感染症予防事業	新型コロナウイルスワクチン接種体制継続のための追加経費：集団接種会場の運営経費など	45,597	健康推進課
小学校管理費	老朽化により使用不可となっている小学校遊具の更新及び新設に係る経費(更新計画を前倒し)	10,252	教育総務課
図書館管理費	七尾ゆかりの文学、漫画、郷土史関連本を展示している「ふるさとコーナー」の拡充に係る経費	1,281	スポーツ文化課
ほっと石川観光プラン推進ファンド造成事業	県が造成した「石川観光プラン推進ファンド」(総額200億円)の延長に係る市負担金	420,000	交流推進課
キャッシュレス決済ポイント還元事業	キャッシュレス決済によるポイント還元事業 対象：市内店舗でキャッシュレス決済を利用した者 実施期間：11月から12月の2か月間 ポイント付与率：最大20% (1回の上限4千円、期間中最大2万円)	208,400	産業振興課
中小企業振興対策事業	新型コロナウイルス感染症再拡大の影響で、大幅に減収しているための緊急支援金。 対象要件：令和3年1月から令和3年8月までの期間に於ける連続3か月の売り上げが、令和元年同期比で20%以上減少している 支援金額：1法人20万円、個人事業者10万円	65,000	
農業施設災害復旧事業	現年発生農業災害復旧事業 令和3年8月12日～15日発生豪雨災害 事業個所：農地3カ所、農業用施設7カ所	6,300	農林水産課
交通安全施設整備事業	通学路・未就学児童移動経路の安全対策 七尾東部中学校の通学路である矢田郷218号線の舗装補修(カラー舗装80m)、路肩補修(400m)	4,895	土木課
道路ストック改良事業	国庫補助の内示に伴う事業費増額 (道路照明灯点検77基、道路法面点検52カ所)	4,861	
河川等災害復旧事業	現年発生河川等災害復旧事業費 令和3年8月12日～15日発生豪雨災害 事業個所：道路3カ所、河川2カ所 (市単)道路15カ所、河川11カ所	45,000	
都市公園管理費	老朽化した施設・遊具等の更新及び撤去等経費 希望ヶ丘公園の遊具更新・撤去 小丸山城址公園河畔広場の転落防止柵更新	13,564	都市建築課

七尾駅前にぎわい館 2 階(パトリア)での、 新型コロナウイルスワクチン 集団接種の実施について!

七尾市健康推進課 (パトリア 3 階) TEL 0767-53-3623

1. 目的

現在、矢田郷地区コミュニティセンターで実施している新型コロナウイルスワクチン集団接種について、接種促進のため、駅前であり利便性が高く、接種日程がイベント等に左右されず接種できることから、令和3年9月末から令和3年11月7日までの間、集団接種会場としてパトリア2階のフロアを使用する。



2. 準備及び使用期間について

- 準備期間 .. 令和3年9月27日(月) ~ 9月29日(水)
- 使用期間 .. 令和3年9月30日(木) ~ 11月7日(日)
- 撤去予定 .. 令和3年11月7日(日) ~ 11月8日(月)

※使用期間中は、撤去まで設置状態の予定とし、緊急に撤去が必要となる場合は協議する。

3. 周知方法

ケーブルテレビ、インフォメール、HP などにより周知し、9月中に1回目接種された方または接種される方へは、ハガキによる案内も行う。

4. 予約開始について

- (1) 予約開始日 9月22日(水)10時および17時から
- (2) 接種期間 10月1日(金)から10月15日(金)
- (3) 予約枠数(予定)

①特設会場(パトリア2階)	720人分
②医療機関	2,100人分
計	2,820人分



※「石川県民ワクチン接種センター」へのシャトルバス運行延長

令和3年8月1日(日)~9月25日(日) ⇒ 11月30日(火)

○平日、祝日 1便

○土曜日、日曜日午前午後各1便

(市役所前駐車場⇄石川県産業展示館4号館)

■ワクチン接種状況(医療従事者、高齢者施設等従事者除く)(令和3年9月16日17時現在)

区分	対象者数(人)	1回目(人)	2回目(人)
65歳以上	20,016	18,138(90.6%)	17,920(89.5%)
12歳~64歳	25,243	12,508(49.6%)	9,053(35.9%)
計	45,259	30,646(67.7%)	26,973(59.6%)

一 般 質 問

■2023年 国民文化祭について

質問 2023年秋に石川県で開催される国民文化祭は、天皇陛下が臨席される「四大行幸啓」の一つに位置付けられた文化の祭典である。七尾市として今後、県実行委員会と連携して取り組む事となるが、七尾市の魅力創出につながる取り組みが大切である。

地域の特色を生かした七尾市独自事業は、どのような文化資源等を活用したものが想定され、今後、七尾市として、どのような準備体制で取り組むのか。

答弁 七尾市の文化資源としては、日本百名城である史跡七尾城跡、能登畠山文化を象徴する長谷川等伯、ユネスコの無形文化遺産である青栢祭の曳山などの伝統的な祭り行事。また、世界農業遺産のとの里山里海、能登演劇堂を中心とした演劇文化の振興、赤蔵山俳句会等の文化活動、そしてDMOと連携した観光地域づくり、これらの活用などが考えられ、参加したい観たいと思わせる事業の企画立案に向け、関係団体と連携しながら取り組む考えである。準備体制については、8月18日に七尾市実行委員会を設立し、文化協会、障害者福祉団体連絡協議会、七尾中能登DMO、地域づくり協議会連合会などの委員を持って組織し、今後、開催準備や運営等に必要事業に取り組む事としている。



七尾市としては、魅力ある文化資源を全国に発信し、観光誘客にもつながる好機と捉えており、文化団体等が実施する市独自事業を通して一層の芸術文化の振興と障害者の自立と社会参加の促進が図られるように進めていく。来年には、イベントとして文化的な事業を行いたいと考えており、再来年も単発で終わらない様に以降もしっかりと引き継げるような事業を継続し、最終的に観光につなげていく事をしっかりと検討して実施していく。

■パトリア再生とまちなか賑わい創出について

質問 ①パトリア2階はテナント確保には至っておらず赤字が膨らむだけ。秘策はあるのか？
②プロジェクトチームの立ち上げとメンバー構成は？
③津波避難ビルにも指定されており、災害対応と避難訓練は重要だが取り組みは？
④アフターコロナにおける観光行政、いま出来る事、すべき事とは？

答弁 ①現在2件、もう1件は交渉中である。
②7月の立ち上げを予定していたが遅れており年内につくりたい。経済団体、観光団体、関係企業とその代表に於いて実行委員会を設け、必要に応じて市内外の有識者や専門家を取り入れ、自主事業について検討していく。
③火災を想定した避難訓練は11月に実施予定しているが、津波避難ビルでもあり津波に対するマニュアルは現在なく、今後、策定に向け取り組んでいく。ミナクルとの連携訓練も今後、考えていかなければと思っている。
④コロナが終息すると爆発的に観光客が増加する事が推測できる事から、そのタイミングを的確に捉えた取り組みが重要。DMO等の積極的な支援を行い、機を逃すことなく他のどの地域より先んじて首都圏、関西圏や中京圏における集中的かつ効果的な宣伝広告を行う事により、アフターコロナ最初の旅行先として七尾を選んでもらえる様に働きかける。旅行エージェントへの訪問招へいし、旅行商品に関する専門家である彼らの意見を取り入れ、観光資源の磨き上げに反映させ、一人でも多くの観光客を呼び込んで来る事ができる取り組みを進めていく。

